

「アクセシビリティ研究会」発足のお知らせ

目的

ICTがむろにおいてひとりのがまでにまれています
ICTをいて々なつたちがのをけるようにはなってきたもののできる
するためにはととおいのをることがでありですア
イはにわるものとつがするをすることによりおいつ
をしのをするにするのをからめでわれる
をみすことができるようなでありたいとえていますをにし
つの-をめるためにアイはのことにりみます

- をなアイののとしてし々なでの
- のでしやすいアイのをすこと
- つによるのやをしてますますしていくア
イのをしましたにのつをてること

のによりアイにするするがえることはもとより2020
においてからえるアにしてもらえることがすれば
にとってきなやりとなることはよりくのたちののをのにくことが
となりますこのことにするのをめをえるのの
のとなることができます
は々がのにかかわらずしくにできるものであるとえや
をするのをしてもがにできるのををして2015に
したアイをさせるものですもめた1のの
をしてにおいてアイをするためのがになってきましたまた
つがくしたのによりがにいのにりめ
るようへのをしたりのをできるようにするためのにめられると
をしましたこれらのことにづきのりみをよりにしよりくのたちに
のをってもらうために2016よりやのみのあるとしてしていくことにな
りましたくの々にごいただきたくごしげます。

ア イ Web <http://ipsj-aac.org/>

主な研究分野

ア イ
ICT による
IRT や ICT によるへの
の
にとってのための ITS
の

提案者（順不同）

() (アイ) ()
() アイ) () () ()
() (CSL) () () ()
/) () (/) ()
) () も まゆみ () () ()
() () () () () ()
) () () () () () () ()
) () () () () () () ()
) () () () () () () ()
) () () () () () () ()